

Electric
Works
Company

Panasonic

パナソニック水素事業 ご紹介

パナソニック株式会社エレクトリックワークス社
電材&くらしエネルギー事業部
環境エネルギーBU
燃料電池・水素SBU

パナソニック ホールディングス株式会社

パナソニック株式会社

地域
中国・北東アジア社

スマートライフ事業

住建空間事業

コールドチェーン(中国)事業

冷熱空調デバイス事業

白物家電
くらしアプライアンス社

調理機器

家事機器

美容・健康機器

空質空調
空質空調社

空調機器

換気・環境エンジニアリング等

食品流通
コールドチェーンソリューションズ社

北米・大洋州向け店舗機器等

店舗・冷蔵配送機器等

電気設備・建材
エレクトリックワークス社

照明器具

配線器具・設備システム等

燃料電池・ガスメータ用デバイス

本部直轄

レンズ・車載カメラ等

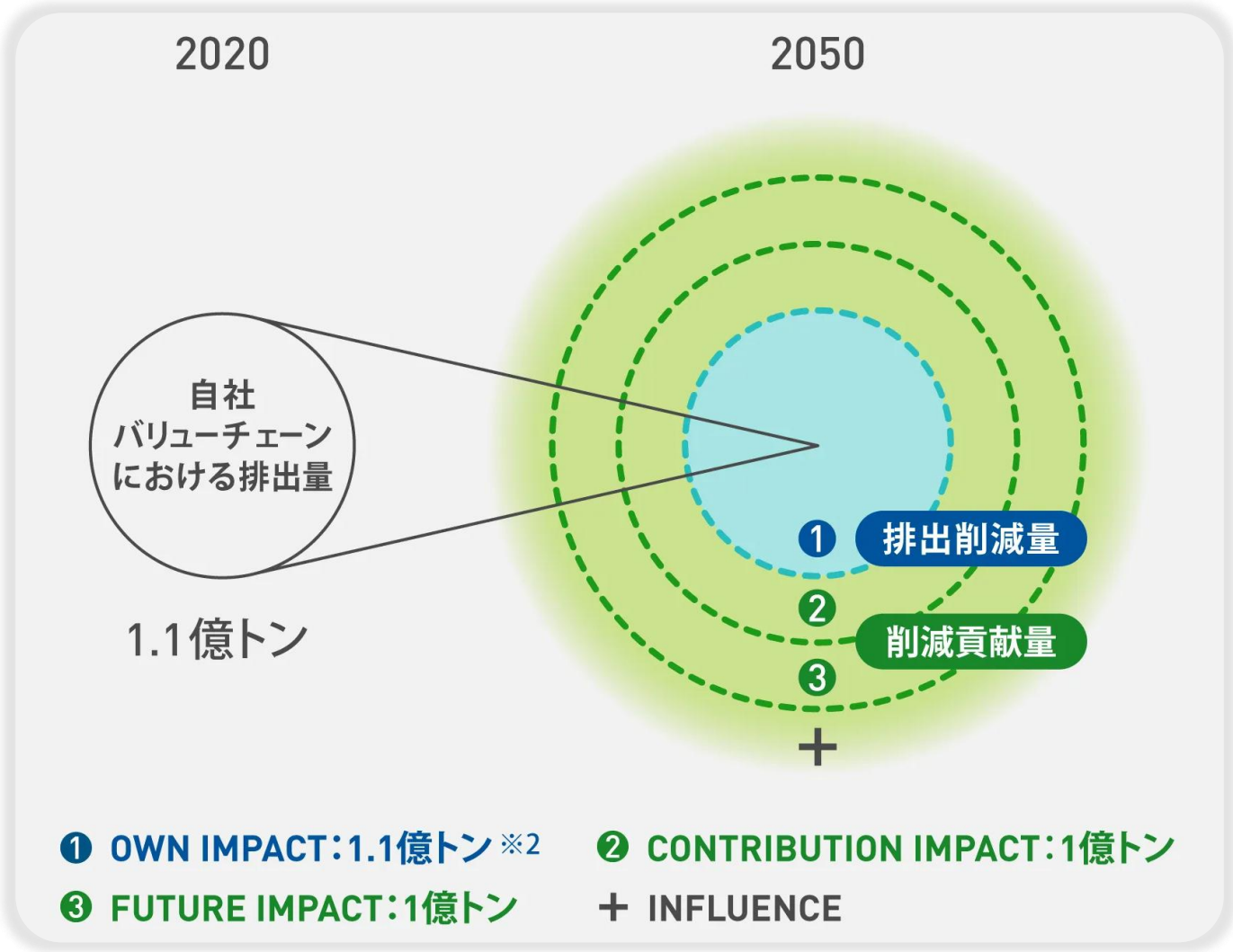
テクニクスブランド事業

電動アシスト自転車

介護サービス・機器販売

- パナソニック エナジー(株)
- パナソニック インダストリー(株)
- パナソニック コネクト(株)
- パナソニック ハウジングソリューションズ(株)
- パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション(株)
- その他グループ会社

パナソニックグループは2050年に向け、3億トン以上のCO2削減インパクト※1を目指す



Panasonic GREEN IMPACT

排出削減量(事業活動における排出削減)

- ① 自社バリューチェーン(原材料の調達や製造から、製品の配送・使用・廃棄まで)における、CO2排出量の実質ゼロ化に取り組む

削減貢献量(社会の排出削減への貢献)

- ② 既存の事業領域での、当社製品・サービスの導入によるCO2排出削減の貢献
- ③ 新事業・新技術の創出による社会のエネルギー変革に貢献し、CO2排出を削減

※1: 2020年 エネルギー起源CO2排出量 317億トン(出典:IEA)。
※2: CO2排出量は2020年度実績の数値。

水素と酸素で発電する燃料電池を使って、CO2排出量の削減に貢献
多数実績のある家庭用に加えて、水素燃料を用いたソリューションも提供開始

B2C

2009年～

家庭用燃料電池

家庭における省エネ、CO2排出量の削減に貢献



累計
26万台超

燃料電池(都市ガス・LPガス)

B2B

2021年～

純水素型燃料電池

業務用・産業用のCO2排出量の削減に貢献



燃料電池(水素)

2022年～

Panasonic HX

工場の電力を100%脱炭素エネルギーで賄うことを目指す



燃料電池(水素)、太陽電池、蓄電池、エネルギー管理システム(EMS)

スペースや必要発電量に応じて複数台設置・連携が可能な2機種をラインナップ

コンセプト「つukれないところに、発電所をつくる」



PH1
(単相三線 5 kW)

本体寸法W834×D417×H1,766mm

2021年10月
発売



PH3
(三相三線 4～9.9 kW)

本体寸法W900×D865×H1,787mm

2024年12月
発売

<デザインパネルはオプション>

■H2 KIBOU

高発電効率56%LHV

長寿命発電9～10万時間

クイック発電起動

250台迄連携可能※

※PH1は10台迄。



単独設置
5kW



屋上設置
300kW



発電施設
1MW

純水素型燃料電池 + 太陽電池 + 蓄電池 の3電池を EMS* で制御して連携 世界初※¹の水素を活用した工場の再エネ由来電力100%化※²に向けた実証

*EMS:エネルギーマネジメントシステム



※¹:2022年3月31日、パナソニック調べ。実証施設は2022年4月15日稼働。

※²:グリーン水素を使うとRE100に対応可能。現在実証に使用しているのはグリーン水素ではありません。

日本、イギリス、ドイツの3カ所で水素を活用したエネルギーソリューション実証を実施

Panasonic HX

水素を活用するエネルギーソリューションの総称

Panasonic HX

「Panasonic HX」という名称には、

- ・環境負荷の少ない水素(H)の本格活用という新たな選択肢を提案
 - ・パートナー企業や行政、ビジネス顧客とのコラボレーション(X)で
 - ・脱炭素社会へのトランスフォーメーション(X)に貢献していく
- という決意を込めています。



世界3カ所で実証

日本 草津

Panasonic HX Kusatsu

- ・工場、3電池連携
- ・純水素型燃料電池 495kW



イギリス カーディフ

Panasonic HX Cardiff

- ・工場、3電池連携
- ・純水素型燃料電池 105kW



ドイツ オットブルン

Panasonic HX Munich

- ・オフィス、2電池連携
- ・純水素型燃料電池 50kW



会場内の太陽光発電から水電解で生成した水素をパイプラインで運び
純水素型燃料電池で発電してパビリオンの電力に利用



NTTグループとの協業により、つくる・ためる・運ぶ・使うを実装



会場内水素パイプライン200m



パビリオンの純水素型燃料電池



ゼロカーボン由来水素で発電しライトアップ

Panasonic

Electric Works Company

